

## 令和4年度 第1学年 社会科 地理的分野 年間指導計画

担当:内藤亜紀子

学 期	項目 (◎ 学習課題)	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
<b>第1部 世界と日本の地域構成</b>				
		<第1部第1章のねらい> 世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようとする。	<第1部第1章の評価規準> ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	<b>第1章 世界の姿</b> <b>■章の問い合わせ</b> 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解させる。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。		
1 年 1 学 期	<b>1 私たちの住む地球を眺めて</b> ◎地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどうのように区分することができるのだろうか。	さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。	地球上における六大陸三大洋の位置と分布や区分を立体的にとらえさせる。	①六大陸三大洋、六つの州の位置や名前、分布を理解しているとともに、地球儀や世界地図を使って六大陸や三大洋、六つの州の位置を示すことができる。 ②大陸や海の分布や位置関係を地球儀や世界地図から考えて表現できるとともに、アジアの中での日本の位置関係を考えて表現できる。
1 年 1 学 期	<b>2 いろいろな国の国名と位置</b> ◎世界のさまざまな国の国名とその位置を覚えるには、どのようなことに注目すればよいだろうか。	国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。	小学校での既習知識を生かしながら世界の地域をまんべんなく、たくさんの国を扱えるよう配慮する。	①さまざまな国の面積、形、人口、国旗などを理解するとともに、学習した国を白地図などを活用して主体的に整理しまとめている。 ②さまざまな国の面積、形、人口、国旗などに着目して、世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>3 緯度と経度</b> ◎世界の国々や都市を表すには、どのような方法があるのだろうか。	緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。	具体的な事例を使いながら体験的に緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解させる。	①緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解するとともに、さくいんを使って日本や世界の都市の場所を調べまとめている。 ②緯度や経度のしくみに着目して世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>4 地球儀と世界地図の違い</b> ◎地球儀と世界地図の長所と短所は、それぞれどのような点だろうか。	地球儀と世界地図の構造を調べ、その違いや特色を理解するとともに、地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。	世界地図にはさまざまな種類があり、それぞれ正しく表現されていないところがあることに気付かせる。	①世界地図の種類ごとに、その長所や短所を理解するとともに、地球儀を使って二点間の距離と方位を調べることができる。 ②地球儀と世界地図とに違いが生じる理由や世界地図の不正確な点や活用法などについて多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>章の学習を振り返ろう</b> <b>■章の問い合わせ</b> 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	世界の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	大陸や海洋、主要な国々の位置や分布に着目して表現させる。	①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	<b>第2章 日本の姿</b> <b>■章の問い合わせ</b> 日本の位置や広がりには、どのような特色があるのだろうか。	<第1部第2章のねらい> 日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようとする。  ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解させる。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	<第1部第2章の評価規準> ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

1年1学期	<b>1 世界の中での日本の位置</b> ◎私たちが暮らす日本の位置は、緯度・経度で見た場合や、世界の他地域から見た場合、どのように表されるのだろうか。	地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。	中東や極東などの用語を紹介し、ヨーロッパを中心に世界をとらえるみかたにも触れ、さまざまな視点から日本や世界をとらえさせる。	①緯度や経度を使った日本の位置を理解するとともに、さまざまな地図を活用して、世界からみた日本の位置を読み取ったり、示したりすることができる。 ②地球儀や世界地図を活用しながら、日本の位置の示し方を多面的・多角的に考察している。
1年1学期	<b>2 時差でとらえる日本の位置</b> ◎地球上の位置によって、時刻が異なるのはなぜだろうか。	時差のしくみを理解し、日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを考える。	等時帯を活用しながら時差を利用できるようにさせる。	①時差のしくみや等時帯の使い方を理解し、世界の等時帯を示した地図を活用して、さまざまな国や都市の時間を読み取ることができる。 ②日本とおもな国々（都市）の時差による違いや配慮などを多面的・多角的に考察する。
1年1学期	<b>3 日本の領域とその特色</b> ◎海に囲まれた日本の領域には、どのような特色があるのだろうか。	領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかる領土問題について主体的に考える。	日本の固有の領土である北方領土や竹島、尖閣諸島について、我が国の主張をもとに指導する。	①領域のしくみや日本の領域の特色、日本が抱える領土問題について理解するとともに、さまざまな資料から我が国が抱える領土問題の経緯や我が国及び各国の主張を調べまとめている。 ②北方領土や竹島、尖閣諸島についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。
1年1学期	<b>4 都道府県と県庁所在地</b> ◎日本の都道府県と都道府県の位置には、どのような特色があるのだろうか。	都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。	明治以後の歴史的背景に着目させる。	①都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解するとともに、都道府県名と県庁所在地名との関係をもとに調べまとめることができる。 ②自分が知っている都道府県の位置や区分を多面的・多角的に考察することができる。
1年1学期	章の学習を振り返ろう <b>■章の問い合わせ</b> 日本の位置や広がりには、どのような特色があるのだろうか。	日本の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	世界の地域構成の学習と関連づけ、世界的視野から日本の地域構成について捉えさせる。	①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

## 第2部 世界のさまざまな地域

	<b>第1章 人々の生活と環境</b> <b>■章の問い合わせ</b> 世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。	<第2部第1章のねらい> 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようとする。  ①人々の生活は、その生活が営まるる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えていたりすることを理解させる。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解させる。  ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まるる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。  ③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	<第2部第1章の評価規準> ①人々の生活は、その生活が営まるる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えていたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。  ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まるる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。  ③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
1年1学期	<b>1 世界のさまざまな生活と環境</b> ◎世界の人々が暮らすそれぞれの地域には、どのような気候の違いがみられるのだろうか。	世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。	景観写真を活用した地域の気候や自然の特色、人々の生活のようすの読み取り方などの地理的技能を身に付けさせる	①雨温図を活用して世界の気候区分とその特色を調べてまとめて、その結果を理解している。 ②景観写真から得られた情報をもとにその地域の地域的特色を多面的・多角的に考察している。
1年1学期	<b>2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～</b> ◎雨が多く気温が高いインドネシアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の特色や人々の生活の特徴や人々の生活の特徴や課題を読み取る。	ジャカルタの雨温図と東京の雨温図を比較して高温多雨である特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からインドネシアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、インドネシアの気候や暑い地域での人々の生活の特徴について理解している。 ②観光を目的とした開発が進む中で人々の生活の変化や新たな課題について多面的・多角的に考察している。

1 年 1 学 期	<b>3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～</b> ◎乾燥した地域が広がるアラビア半島では、人々はどのような生活をしているのだろうか。	アラビア半島の人々の生活のようすから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	サラーラの雨温図と東京の雨温図を比較して高温で乾燥している特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からアラビア半島の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アラビア半島の気候や乾燥した地域での人々の生活の特色について理解している。 ②水を得るために開発による生活の変化や、新たな課題について、多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>4 暖暖な地域の暮らし～スペインでの生活～</b> ◎温暖なスペインでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	バルセロナの雨温図と東京の雨温図を比較して地中海性気候の特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からスペインでの人々の生活の特色を適切に読み取り、スペインの気候や温暖な地域での人々の生活の特色について理解している。 ②シエスタなどの伝統的な生活の変化や、伝統と現代の生活文化の共存について、多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～</b> ◎冬の寒さが厳しいシベリアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	ヤクーツクの雨温図と東京の雨温図を比較して低温で少雨の特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からシベリアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、シベリアの気候や寒い地域での人々の生活の特色について理解している。 ②外国文化の流入による生活の変化について、多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～</b> ◎標高が高いアンデス山脈の高地では、人々はどのような生活をしているのだろうか。	アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。	クスコの雨温図と東京の雨温図を比較して高地の気候の特色を読み取らせ、それが人々の生活にどのように影響しているかを考えさせる。	①雨温図や景観写真からアンデス山脈の気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、アンデス山脈の気候や高地での人々の生活の特色について理解している。 ②現代化と観光化による人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>7 世界各地の衣食住とその変化</b> ◎世界各地の人々の住居や主食、衣服は、自然環境とどのような関係があり、かつてと比較すると、どのような変化がみられるのだろうか。	世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。	各地の自然環境の特色と関連させながらとらえさせる。	①景観写真や資料図などから世界各地の衣食住の特色を読み取り、世界の地域ごとに衣食住の特色を理解している。 ②世界各地でみられる伝統的な生活様式の変化について多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>8 人々の生活と宗教の関わり</b> ◎世界の宗教はどのように分布し、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。	宗教が世界各地の生活や文化と関わりが深いことについて着目させる。	①景観写真からそれぞれの宗教の祈りや習慣の特色を読み取り、世界のさまざまな宗教の特色について理解している。 ②世界各地の宗教とその地域の生活の特色との関連性を多面的・多角的に考察している。
1 年 1 学 期	<b>章の学習を振り返ろう</b> <b>■章の問い合わせ</b> 世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。	人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	地球上での位置や気候区分との関連に着目しながら、自然環境と人々の生活との関連についてとらえさせる。	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えてたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主要な宗教の分布についても理解している。 ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

<b>第2章 世界の諸地域</b>	<p><b>&lt;第2部第2章のねらい&gt;</b></p> <p>アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようさせる。</p> <p>①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解させる。</p> <p>①アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。</p> <p>②アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p><b>&lt;第2部第2章の評価規準&gt;</b></p> <p>①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。</p> <p>①アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</p> <p>②アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
<b>第1節 アジア州</b> <p><b>■節の問い合わせ</b> アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えていているのだろうか。</p>	<p><b>&lt;この節のねらい&gt;</b></p> <p>他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。</p>	<p><b>&lt;この節の評価基準&gt;</b></p> <p>①アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p> <p>②他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。</p> <p>③人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。</p>		
<b>1年2学期</b>	<p><b>1 アジア州の自然環境</b></p> <p>◎ユーラシア大陸の広い範囲を占めるアジア州では、地形や気候にどのような特色がみられるだろうか。</p>	<p>アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p>	<p>モンスーンの影響を受ける地域とそうでない地域とに区分できることに気付かせる。</p>	<p>①アジア州を地域区分し、自然環境に関するそれぞれの特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから雨季と乾季の違いやそれぞれの特色を調べまとめることができる。</p> <p>②雨季と乾季の違いや人口分布の違いなどについてモンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し表現することができる。</p>
<b>1年2学期</b>	<p><b>2 アジア州の農業・文化と経済発展</b></p> <p>◎世界一の人口集中地域であるアジア州では、どのような農業が行われ、どのような文化が育まれてきたのだろうか。</p>	<p>アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。</p>	<p>年間降水量と稲作、畑作、遊牧の分布との関連性に気付かせる。 人口集中と経済発展の関連性に気付かせる。</p>	<p>①アジア州における農業分布や宗教分布の特色を理解するとともに、降水量や農業分布、宗教別人口などの資料を活用して、地域の特色との関連性について調べまとめることができる。</p> <p>②年間降水量の違いと農業分布との違いを関連付けてその特色を考察するとともに、人口集中と経済発展とを関連づけてその特色を考察することができる。</p>
<b>1年2学期</b>	<p><b>3 経済発展を急速に遂げた中国</b></p> <p>◎巨大な人口を抱える中国では、急速な経済発展によって、社会にどのような課題が生じてきているのだろうか。</p>	<p>中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。</p>	<p>急速な経済発展の裏で経済格差の拡大や環境問題などの課題が深刻化していることに気付かせる。</p>	<p>①中国の急速な経済発展や地域の変化についてその特色を理解するとともに、さまざまな資料を活用して中国の急速な経済発展と地域の変化との関連について調べまとめることができる。</p> <p>②急速な経済発展にともなって進行する経済格差や環境問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
<b>1年2学期</b>	<p><b>4 最も近い隣国、韓国</b></p> <p>◎最も近い隣国である韓国は、生活・文化や社会と産業の変化において、日本とどのような関わりがあるのだろうか。</p>	<p>文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。</p>	<p>日本との関わり地という視点から韓国のさまざまな特色について考えさせる。</p>	<p>①文化や工業の特色について理解しているとともに、輸出の変化や一極集中による課題について調べまとめている。</p> <p>②韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>
<b>1年2学期</b>	<p><b>5 経済発展を目指す東南アジア</b></p> <p>◎東南アジアの国々は、外国との関わりのなかで、どのような工業化を進め、経済を発展させてきたのだろうか。</p>	<p>外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。</p>	<p>東南アジア各国の工業化が、外国との貿易が進展する中で発展してきたことについて気付かせる。</p>	<p>①東南アジアの工業化の実態について理解するとともに、新旧の統計資料を比較して外国企業の進出増加や輸出品目の高度化について調べまとめている。</p> <p>②外国企業の進出増加や輸出品目の高度化と経済発展との関連性について他地域との結びつきに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>

1年2学期	<b>6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア</b> ◎人口増加が続く南アジアの国々は、どのような発展を続けているのだろうか。	南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。	ICT関連産業が発展が、地域の人々の生活の変化に大きな影響を与えており、気付かせる。	①南アジアの文化や産業の発展を経済発展と関連付けて理解し、その特色を調べてまとめる。 ②インドでICT関連産業が急速に発達した理由や貧困層に関する課題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
1年2学期	<b>7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</b> ◎西アジアや中央アジアの国々の経済成長は、どのような産業が支えているのだろうか。	西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。	原油の生産や輸出が南アジアや中央アジアの発展に与える影響について考えさせる。	①西アジアや中央アジアの経済成長について理解とともに、資源生産や輸出の特色や変化について調べてまとめる。 ②他地域との結びつきに着目して原油の生産や輸出が南アジアや中央アジアの発展に与える影響について多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。
1年2学期	<b>節の学習を振り返ろう</b> <b>■節の問い合わせ</b> アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えていたのだろうか。	アジア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	他地域との結びつきや急速な経済成長、人口の増加などに着目しながら、その影響について考えさせる。	①アジア州の自然環境や社会環境に着目して、アジア州の地域的特色を整理することができる。 ②第1節の問い合わせを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アジア州の地域的特色、急速な経済発展や人口増加による課題などについて主体的に追究、整理しようとしている。
<b>第2節 ヨーロッパ州</b> <b>■節の問い合わせ</b> ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。		<この節のねらい> 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、ヨーロッパ州で見られるEU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響を、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	<この節の評価基準> ①ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていていることを理解する。 ②他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に关心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。	
1年2学期	<b>1 ヨーロッパ州の自然環境</b> ◎ユーラシア大陸の西部に位置するヨーロッパ州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	同緯度同縮尺の日本に着目して、日本との位置関係をとらえさせるとともに、北大西洋海流や偏西風が及ぼす影響に気付かせる。	①地図や雨温図を活用して、ヨーロッパ州の地形や気候の特色を調べ、まとめる。 ②地球上におけるヨーロッパの位置に着目しヨーロッパの気候が温暖である理由について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
1年2学期	<b>2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</b> ◎多くの国々が集まるヨーロッパの文化には、どのような共通性や多様性があるのだろうか。	位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。	ヨーロッパ州の文化が広く見ると共通性があるものの、細かな点では違いがあることに気付かせる。	①位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を調べてまとめる。 ②位置や分布に着目しながらヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
1年2学期	<b>3 EUの成り立ちとその影響</b> ◎ヨーロッパでは、国境を越えた結びつきが強まることにより、人々の生活にどのような変化がみられたのだろうか。	ヨーロッパ州の国境をこえた結び方に着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。	ヨーロッパ州の地形や歴史に着目させながらEU統合の理由や利点を考えさせるとともに、EU統合が人々の生活に与えた影響について考えさせる。	①ヨーロッパ州の地形や歴史に着目しながら、その特色を調べてまとめる。 ②ヨーロッパ州の国境をこえた結び方に着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
1年2学期	<b>4 ヨーロッパの農業とEUの影響</b> ◎ヨーロッパの農業には、地域によってどのような特色があり、EUによる統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。	ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	ヨーロッパ州の気候と農業との関係を理解させるとともに、EUの農業政策の実態と課題について考えさせる。	①緯度や気候に着目して、ヨーロッパ州の農業の特色を調べてまとめる。 ②EU統合が与えた農業の変化やEUの農業政策の実態と課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
1年2学期	<b>5 ヨーロッパの工業とEUの影響</b> ◎ヨーロッパの工業にはどのような特色があり、EUの統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。	ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。	ヨーロッパ州の資源と工業との関係を理解させるとともに、EU統合がもたらした利点や変化、課題について考えさせる。	①資源の分布や工業地域の立地に着目して、ヨーロッパ州の工業の特色を調べてまとめる。 ②EU統合がもたらした利点や変化、課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。

1年 2学期	<b>6 EUが抱える課題</b> ◎統合を進めてきたEUでは、どのような課題が生じているのだろうか。	EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やそれらの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について考えさせる。	EU域内での経済格差に着目しながらそれらの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について考えさせる。	①EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題を調べ、まとめている。 ②EU域内での経済格差に着目しながらそれらの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
1年 2学期	<b>節の学習を振り返ろう</b> <b>■節の問い合わせ</b> ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	ヨーロッパ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	EU統合という地域のあり方に着目しながら、EU統合の良さや課題に気をつけさせる。	①ヨーロッパ州の自然環境や社会環境に着目して、ヨーロッパ州の地域的特色を整理することができる。 ②第2節の問い合わせを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。
<b>第3節 アフリカ州</b> <b>■節の問い合わせ</b> アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えていたのだろうか。		<この節のねらい> 他地域との結びつきやアフリカ州という地域に着目し、モノカルチャー経済からの脱却やアフリカ州の国々の発展や支援の在り方などを取り上げて、アフリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	<この節の評価基準> ①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。 ②一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになってしまった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的・多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。 ③モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。	<この節の評価基準> ①アフリカ州の地形や気候の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、アフリカ州の地形や気候の特色を調べまとめている。 ②アフリカ州の気候や地形の特色を赤道を中心に整理し、サヘルの砂漠化について地域に着目しながら多面的・多角的に考察し、課題の可決に向けて選択・判断することができる。
1年 2学期	<b>1 アフリカ州の自然環境</b> ◎アフリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	赤道をはさんで南北に対称な気候分布や高原や台地が全域に広がる地形の特色などに気付かせる。	①アフリカ州の地形や気候の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、アフリカ州の地形や気候の特色を調べまとめている。 ②アフリカ州の気候や地形の特色を赤道を中心整理し、サヘルの砂漠化について地域に着目しながら多面的・多角的に考察し、課題の可決に向けて選択・判断することができる。
1年 2学期	<b>2 アフリカの歴史と文化</b> ◎アフリカ州はどのような歴史をたどり、その文化には、どのような特色がみられるのだろうか。	アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。	アフリカ連合（AU）による政治的・経済的な団結によるアフリカ諸国の生活や文化の変化に着目させる。	①アフリカ州の文化と歴史について理解するとともに、さまざまな資料を活用してヨーロッパとのつながりの歴史や今もなおつながりが深いことによる地域への影響について多面的・多角的に考察することができる。 ②アフリカ連合（AU）の発足によるアフリカ諸国の人々の生活の変化や課題について多面的・多角的に考察している。
1年 2学期	<b>3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済</b> アフリカ州の産業にはどのような特色があり、そこにはどのような課題があるのだろうか。	アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。	多くの国がモノカルチャー経済であり、さまざまな課題を抱えていることに注目し、そこからの脱却について多面的・多角的に考えさせる。	①アフリカの産業の実態やモノカルチャー経済について理解するとともに、アフリカ諸国におけるおもな輸出品の変化のグラフなどからアフリカ諸国の変化と努力について調べまとめている。 ②フェアトレードの取り組みに着目し、モノカルチャー経済からの脱却について多面的・多角的に考察し解決策を思考している。
1年 2学期	<b>4 アフリカが抱える課題とその取り組み</b> ◎アフリカ州の国々は、どのような課題を抱えており、その解決と発展に向けて、どのように取り組んでいるのだろうか。	アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。	自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考えさせる。	①自国の取り組みや他国からの支援の実態を理解するとともに、さまざまな資料からアフリカ州が抱えている問題を調べまとめている。 ②自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考察している。
1年 2学期	<b>節の学習を振り返ろう</b> <b>■節の問い合わせ</b> アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えていたのだろうか。	アフリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	モノカルチャー経済からの脱却などに着目しながら、アフリカ州の国々の発展や支援の在り方について気をつけさせる。	①アフリカ州の自然環境や社会環境に着目して、アフリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第3節の問い合わせを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アフリカ州の地域的特色やモノカルチャー経済からの脱却、アフリカ州の国々の発展や支援の在り方などについて主体的に追究、整理しようとしている。
<b>第4節 北アメリカ州</b> <b>■節の問い合わせ</b> 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのだろうか。		<この節のねらい> 他地域との結びつきや北アメリカ州という地域に着目し、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達したことなどを取り上げて、北アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	<この節の評価基準> ①多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解してまとめている。 ②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。 ③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。	<この節の評価基準>

1年2学期	<b>1 北アメリカ州の自然環境</b> ◎北アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	広大な平原と大規模な山脈の分布、熱帯から寒帯まで見られる多様な気候を西経100度に着目して、北アメリカ州の自然の特色を大まかにとらえさせる。	①北アメリカ州の自然環境の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、北アメリカ大陸の自然環境の特色を東西に分けて調べまとめている。 ②西経100度線に着目して北アメリカ州を東西に分けてそれぞれの気候や地形の特色を多面的・多角的に考察している。
1年2学期	<b>2 移民の歴史と多様な民族構成</b> ◎北アメリカ州に多様な民族が集まつたことは、地域にどのような特色をもたらしたのだろうか。	北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。	移民の歴史に着目しながらアメリカ合衆国を中心に北アメリカ州の文化や民族の特色が地域に与えた影響について考えさせる。	①北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解するとともに、さまざまな資料からアメリカ合衆国の移民や開拓の歴史、民族構成の特色について調べまとめている。 ②移民の歴史に着目しながらアメリカ合衆国の民族の特色や地域に与える影響について多面的・多角的に考察している。
1年2学期	<b>3 大規模な農業と多様な農産物</b> ◎北アメリカ州で、農産物を大量に生産したり、輸出したりできるのは、なぜだろうか。	北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。	北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさについて気付かせる。	①大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色について理解するとともに、北アメリカ州の自然環境に合わせた適地適作が進む農業地域の分布や特色について調べまとめている。 ②巨大企業による生産・輸出の形態や北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさや課題について多面的・多角的に考察している。大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色や課題について主体的に追究、解決しようとしている。
1年2学期	<b>4 世界をリードする工業</b> ◎アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら、世界をリードするまでに発展したのだろうか。	アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。	アメリカ合衆国とカナダやメキシコなどとの関係性や先端技術産業の躍進などに着目させる。	①アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解するとともに、鉱工業の分布図を活用してアメリカ合衆国の工業の特色を五大湖周辺、太平洋沿岸、南部地域に分けて調べまとめている。 ②先端技術産業の躍進などを事例にしながら、アメリカ合衆国が世界に与えるこれから影響や課題について多面的・多角的に考察している。
1年2学期	<b>5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</b> ◎アメリカ合衆国の人々の生活には、どのような特色があるのだろうか。	アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。	これまでの大量生産大量消費の在り方を見直し、持続可能な社会を実現するための課題について追究させる。	①アメリカ合衆国これまでの大量生産大量消費による生活や文化の特色を理解するとともに、野球場や大型ショッピングセンターの駐車場の写真から、アメリカ合衆国における車社会化の発展について調べまとめることができる。 ②大型ショッピングセンターや大手ハンバーガーチェーンを事例として世界中に広がる文化とその影響やこれまでの大量生産大量消費の在り方を見直し、持続可能な社会を実現するための方策について多面的・多角的に考察することができる。
1年2学期	<b>節の学習を振り返ろう</b> <b>■節の問い合わせ</b> 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心とした巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	北アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	、北アメリカ州の世界に与えている影響に着目させながら、持続可能な社会を実現するための課題や方策について追究させる。	①北アメリカ州の自然環境や社会環境に着目して、北アメリカ州の地域の特色を整理することができる。 ②第4節の問い合わせを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、北アメリカ州の地域の特色や持続可能な社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。
<b>第5節 南アメリカ州</b> <b>■節の問い合わせ</b> 南アメリカ州では、農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。		<この節のねらい> 他地域との結びつきや南アメリカ州という地域に着目し、農地や鉱山の開発が地域に影響したことなどを取り上げて、南アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	<この節の評価基準> ①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ③多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。	
1年3学期	<b>1 南アメリカ州の自然環境</b> ◎南アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	広大な熱帯林や世界最長の山脈などの分布に着目させる。	①南アメリカ州の自然環境の特色について理解するとともに、地図を活用して、平原や草原、山脈や高原の分布を読み取りまとめている。 ②南アメリカ州の気候の違いを、標高や緯度の違いと関連付けて多面的・多角的に考察している。
1年3学期	<b>2 多様な民族・文化と人々の生活</b> ◎南アメリカ州の国々の文化や民族には、どのような特色がみられるのだろうか。	南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。	スペインやポルトガルの進出と植民地時代の歴史の影響に着目させる。	①南アメリカの多様な民族と人々の生活について理解するとともに、さまざまな資料を活用して先住民の暮らしの変化についてその実態を調べまとめる。 ②南アメリカ州の文化の成立立ちをスペインやポルトガルに進出と植民地時代の歴史の影響と関連付けながら考察するとともに、その変化や課題について多面的・多角的に考察している。

1年3学期	<b>3 大規模化する農業と成長する工業</b> ◎南アメリカ州の国々で、産業に変化がみられるようにならぬのはなぜだろうか。	南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。	モノカルチャー経済からの脱却と経済発展のための開発に着目させる。	①南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について理解するとともに、ブラジルなどを例にして農業開発や資源開発によって南アメリカの国々がモノカルチャー経済から脱却し発展したことを調べまとめている。 ②農業開発や工業開発が南アメリカの経済発展に与えた影響や産業の発展に伴う課題について多面的・多角的に考察している。
1年3学期	<b>4 ブラジルにみる開発と環境保全</b> ◎アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発は、地域の環境や人々の生活にどのような影響を与えていたのだろうか。	アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考える。	開発と環境保全を持続発展的に両立させていくことが大切であることに気付かせる。	①アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、環境保全をめぐる新たな課題について調べまとめている。 ②開発と環境保全との持続発展的な両立や環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。
1年3学期	節の学習を振り返ろう <b>■節の問い合わせ</b> 南アメリカ州では、農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	南アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	経済発展のプラス面とマイナス面の両方に着目させながら、開発と環境保全との持続発展的な両立について考えさせる。	①南アメリカ州の自然環境や社会環境に着目して、南アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第5節の問い合わせを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、南アメリカ州の地域の特色や持続可能な社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。
第6節 オセアニア州 <b>■節の問い合わせ</b> オセアニア州では、他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。		<この節のねらい> 他地域との結びつきやオセアニア州という地域に着目し、白豪主義から多文化社会への転換などを取り上げて、オセアニア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。	<この節の評価基準> ①自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。 ②オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ③広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域の特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
1年3学期	<b>1 オセアニア州の自然環境</b> ◎オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるオセアニア州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。	オーストラリア大陸と、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシアの4地域に分けて自然環境の特色をとらえさせる。ツバルの海面上昇の問題についても考えさせる。	①オセアニア州の自然環境について理解するとともに、地図や雨温図などを活用して自然環境の特色をオーストラリア大陸と、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシアの4地域に分けてまとめている。 ②オーストラリア大陸の都市や人口の分布の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察しているとともに、ツバルの海面上昇の問題やその解決について多面的・多角的に考察している。
1年3学期	<b>2 移民の歴史と多文化社会への歩み</b> ◎オーストラリアやニュージーランドをはじめとするオセアニアの社会は、どのような人々によって成り立っているのだろうか。	オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。	植民地支配と移民の歴史を背景にしたヨーロッパの影響による白豪主義のオーストラリアと、多文化社会へと大きく変化した近年の実態について注目させる。	①オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解するとともに、さまざまな景観写真からオセアニアの生活や文化に対するイギリスの影響を読み取りまとめている。 ②オーストラリアが白豪主義から多文化社会へと転換した背景と理由及び多文化社会への転換に関する課題について多面的・多角的に考察している。
1年3学期	<b>3 他地域と結び付いて発展する産業</b> ◎オーストラリアをはじめとするオセアニアの国々は、他地域と結び付いて、どのように産業を発展させてきたのだろうか。	オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。	アジアとの結びつきに着目し、農業と自然環境の特色、工業と地形の特色とを関連づけて考えさせる。	①オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色について理解するとともに、さまざまな分布図からオーストラリア大陸の各地で工業や農業がさかんであるところを調べまとめている。 ②オーストラリアの輸出品の変化からオーストラリアの産業の変化や発展をアジアとの結びつきに着目して多面的・多角的に考察している。
1年3学期	節の学習を振り返ろう <b>■節の問い合わせ</b> オセアニア州では、他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	オセアニア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	白豪主義から多文化社会への転換やアジアとの結びつきに着目させながら、持続可能なオセアニア州の在り方について考えさせる。	①オセアニア州の自然環境や社会環境に着目して、南アメリカ州の地域的特色を整理することができる。 ②第6節の問い合わせを、単元の学習の成果をいかし多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③単元の学習を振り返り、アジアとの結びつきを強めた多文化社会を実現するための課題や方策について主体的に追究、整理しようとしている。

※第2部第2章 世界の諸地域 の「学習を振り返ろう」は6つの州のうち1つを選択して行うよう想定している。